

岩手大学女性のキャリア形成支援リカレントプログラム 2025 ベーシックコース実施報告

2025 年度は 5/23 に開講式を行い、カリキュラムⅠ～カリキュラムⅣまでの連続講座（カリキュラムⅢは 3 回に分けて 3 会場にて開催）が無事に終了した。プログラムは、盛岡市・もりおか女性センター、北上市、大船渡市が共催となっており、カリキュラムⅠは盛岡市、カリキュラムⅢ（北上）は北上市、カリキュラムⅢ（大船渡）は大船渡市との共同開催で実施した。

1. 受講生の数、属性

今年度は、連続講座の申込は 18 名あり、単回参加者はのべ 34 名だった。

受講生の所属事業所の業種は、建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、製造業、小売業、複合サービス事業、サービス業、高等教育機関、一般社団法人など多岐に渡る。

2. カリキュラム内容

カリキュラム (開催方法)	開催日時	内 容 (●：単回受講者＋コース受講者、○：コース受講者限定)
Ⅰ (オンライン)	5/23(金) 13:30～16:30	●開講式・プログラムの趣旨説明 ●実践的スキルアップセミナー 「社内ですでに！仕事に役立つ！論理的プレゼンテーション術」 ○ネットワークカフェ（自己紹介）
Ⅱ (オンライン)	6/20(金) 13:30～16:30	●ジェンダー・ダイバーシティとは ●女性のキャリア形成について・強み発見 ○ネットワークカフェ
Ⅲ (ハイブリッド)	7/11(金)北上 7/25(金)大船渡 8/22(金)盛岡 13:30～16:30	●女性のリーダーシップを考えるセミナー*&ネットワークカフェ ～現役リーダーとの交流を通して考えよう～ 1) ビデオ教材＋地域で活躍中のゲスト紹介（2 名） 2) グループトーク（ゲストとの交流） ※3 会場（盛岡／北上／大船渡）にて開催
Ⅳ (ハイブリッド)	9/12(金) 13:30～16:00	○ネットワークカフェ ○閉講式・成果報告

3. 各回（カリキュラムⅠ～Ⅲ）の受講生の満足度

各回終了後、受講生にフィードバックシートを提出していただき、自身が得た学びを振り返っていただく機会とすると同時に、内容の満足度も確認した。

すべての回において「大変有意義だった」「有意義だった」との回答が 94%以上と、非常に高い評価を得た。

（回収率はカリキュラムⅠ：86.1%、カリキュラムⅡ：95.8%、カリキュラムⅢ：94.9%）

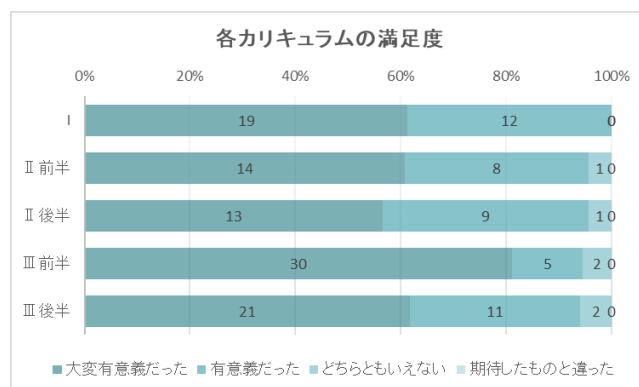


図 1 カリキュラムⅠ～Ⅲの満足度

4. 閉講式について

閉講式では、招待客（受講生の所属事業所の上司、共催機関関係者）や本学学長が見守る中、受講生 16 名がプログラムから学んだこと・刺激を受けたことなどを踏まえて考えた自身の目標を正々堂々と発表した。

招待客からは、以下のようなコメントも寄せられた。

●受講者の皆さんがそれぞれ自分の言葉で発表されているのが印象的でした。力強さ、落ち着きなどそれぞれの個性が出ているのも良かったです。

●セミナーを通じて大事な事、考えが変わる事など、それらに気付くきっかけとなる有意義な時間となった印象を受けました。

●皆さんが素晴らしい目標を掲げられて、とても感銘を受けました。プログラムを通して勉強された成果が発揮されていたと感じました。また、私自身もまだまだ頑張らなければならないと思いました。



5. プログラムの効果の検証（自己点検シートの解析）

プログラムの開始時と終了後に個別スキルの自己評価をしていただいた。個別データを見ると、各スキルの評価は様々で、その効果の上昇度合いも様々だが（図2）、14名分のデータの平均値は、全項目において、プログラムの前後で、スキルの上昇がみられた（図3）。中でも、「女性活躍・ダイバーシティ推進への理解」の項目は上昇度が最も高く、全受講生が、開始時に比べ、終了後のスキルは高くなったと評価していた。「計画力」「ストレスコントロール力」も上達度が高い結果となった（図4）。



図2 プログラム受講生のプログラム開始時および終了後の自己点検シート回答結果



図3 プログラム受講生のプログラム開始時および終了後の自己点検結果の平均値

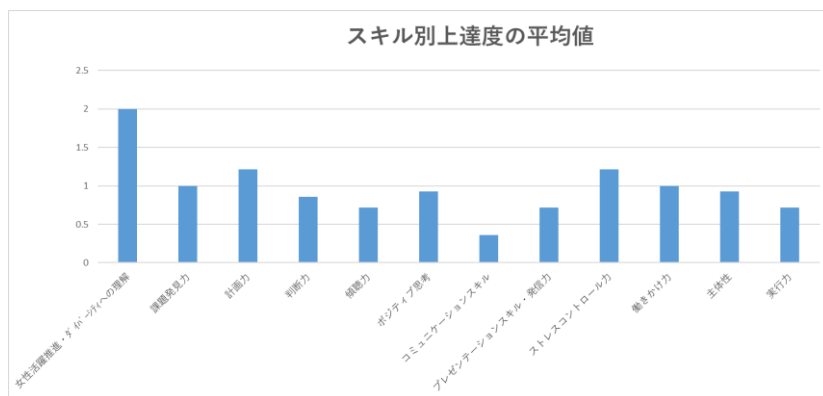


図4 個別スキル別、自己点検結果の開始時と終了後の差（プログラム前後での上達度）

6. オープンバッチの付与

全カリキュラムに出席し、フィードバックシートの提出、プログラム受講前後の自己点検シートの提出を確認できた14名には、後日オープンバッチを付与する予定である。



7. 事業所アンケートの結果

プログラムの参加者を派遣した事業所に、プログラム開始前と終了後にアンケート調査を行った。開始前は14事業所に、終了後は8事業所より回答が得られた。

終了後アンケートにおいて、プログラムに対する期待度とその効果を尋ねたところ、「期待以上の効果があった」が1事業所（12.5%）、「期待通りの効果があった」が6事業所（75%）、「期待したほどではないが効果があった」が1事業所（12.5%）であり、「効果は感じられなかった」の回答はなかった。概ね満足度のある効果を実感していることが伺える結果となった（図5）。

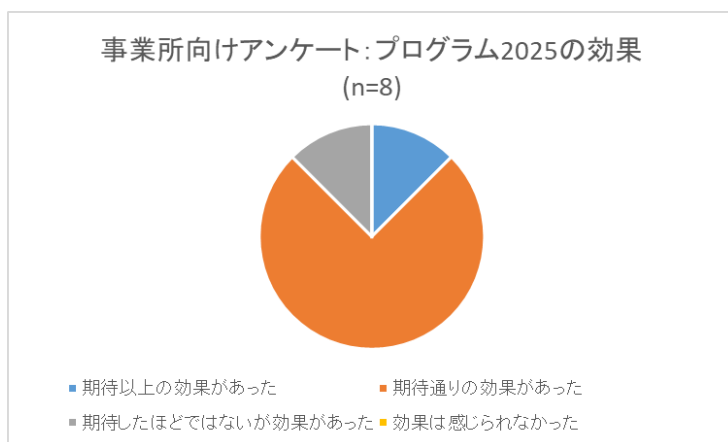


図5 事業所アンケート（終了後）：プログラムの効果

さらに、プログラムの影響、今後の期待について質問に対して以下のようなコメントが寄せられた。

具体的に本プログラムがどんな影響を与えたか	・モチベーションや積極性の向上に好影響があったのではないと思う。 ・自身が行っている仕事の振り返りや職場に限らず、幅広く将来の目標を考える機会になったのではないかと感じた。 ・社外の人達と積極的に関わりながら、自分と異なる考え方を受け入れたり刺激に感じたりしながら自分自身と向き合い、自分が今後どのようにキャリアパスを描いていきたいかを考え、それを自分の言葉でしっかり語れるようになった。 ・率先してグループ内で発言するなど自発的な行動に繋がっていると感じる。
今後、本プログラムに期待すること	・本人の様子や成長度合いを見るに、とても有意義なプログラムだったと感じる。このような取組みをぜひ今後も継続的に開催していただきたい。 ・一般的な能力研修は社内でも用意があるので、女性ならではの悩みに沿った研修内容や、前向きに仕事に取り組めるような研修を引き続き提供して欲しい。 ・人口減少が進む昨今、従業員が「学び直し」を通じ専門知識を獲得することで、企業のさらなる成長へつなげて欲しい。 ・今後は会社の DX 化や AI 活用についてのプログラム検討を希望する。

上記のほか、開始時アンケートでは「受講者の方に身につけてほしい能力」を、終了後アンケートでは、今後のプログラム発展の参考に「貴事業所の女性社員に身につけてほしい能力」を、自己点検の12項目の中から選択していただいたところ、図6、図7の結果となった。全体的に「課題発見力」「判断力」「ポジティブ思考」「働きかけ力」「主体性」の選択率が高い結果となった。これらの結果は、次年度プログラムの運営に活かしていく予定である。

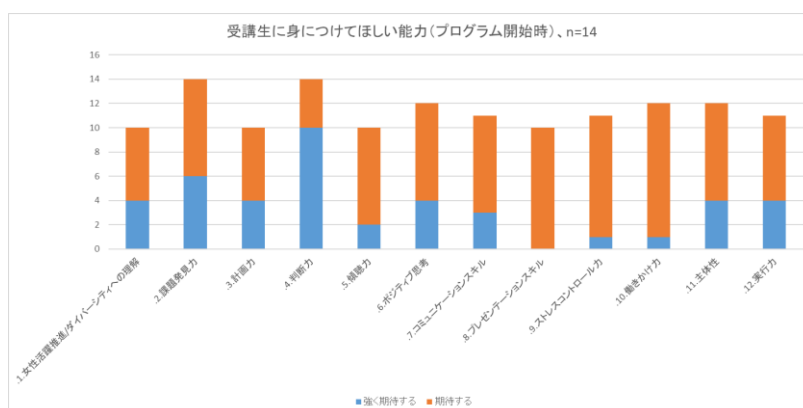


図6 事業所アンケート（開始時）：受講の女性社員に身につけてほしい力

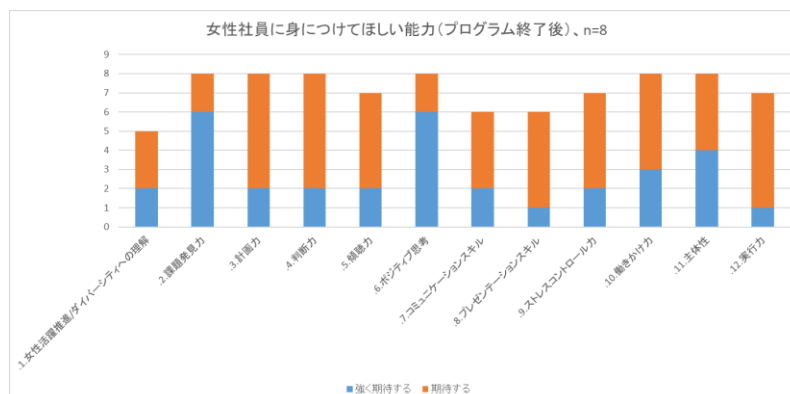


図7 事業所アンケート（終了後）：自社の女性社員に身につけてほしい力



オンライン講義の様子



カリキュラムⅢ（ロールモデル紹介と交流）の様子



閉講式での記念写真

以上